

2021年度 冬季重負荷期対策の概要

kWの確保に向けた対策		
電源の確保 参考 1	補修点検時期調整	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 冬季に予定していた火力発電所の補修点検時期を調整 <ul style="list-style-type: none"> – 東京エリア：2022年1月に46万kW、2月に42万kW（千葉 等） – 中部エリア：2022年2月に48万kW（新名古屋 等）
	姉崎火力発電所5号機 運転再開準備	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 追加供給力公募開始前に、長期計画停止中であった姉崎火力発電所5号機の運転再開に向け、自主的に準備工事着手 ✓ 東電PGによる「2021年度冬季追加供給力の公募」に応札、落札者に選定 ✓ 2022年1月に運転再開（現在、運転再開準備中）
	増出力運転	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 電力需給ひっ迫時、火力発電所の増出力運転を予定
発電設備の 重点点検等	社内体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ リスク管理委員会のもと、需給対策部会を設置し、情報共有と迅速な対応を強化
	重点点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 火力発電所の重点対策部位である「海水冷却系統」と「ボイラ燃焼ガス系統」等の重点的な監視、点検時に設備健全性を確認
kWhの確保に向けた対策		
電力市場への 供給力供出 参考 2	JEPX入札主体の変更	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 燃料調達を行っている当社がJEPXスポット市場への入札主体となるよう、東電EPとの電力受給契約を見直し、本年11月から運用を開始
	JEPX入札価格に反映する 限界費用の考え方変更（統一）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 昨冬のような燃料制約や電力需給ひっ迫を回避するためには、JEPXスポット市場の入札価格に燃料の需給状況が明確に反映され、市場に対し適切な価格シグナルが発せられることが重要 ✓ 東京エリアにおけるJEPXスポット市場入札価格に反映する限界費用の考え方を、LNGスポット調達等追加的な燃料調達価格を考慮した価格に見直し。電力・ガス取引監視等委員会の確認が完了した日以降、適用開始 ✓ 本取り組みを継続していくことで、今後、追加的な燃料調達価格が上昇した場合には当社のJEPXスポット市場入札価格も上昇し、下落時には当社のJEPXスポット入札価格も下落する
	kWh公募への対応	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 送配電事業者によるkWh公募の募集要綱を踏まえ、kWh供出について前向きに検討
燃料の確保 参考 3	当社独自の需要想定に 基づく燃料調達	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 電力需要を想定し、過去実績や他社電源稼働想定等から当社発電量見通しを想定 ✓ 想定に基づき燃料調達や配船調整を機動的に行うことで、安定的に燃料を確保
	自主的にLNG在庫を 厚めに確保・維持	<ul style="list-style-type: none"> ✓ JERAGM※の、欧米・アジア市場を跨ぐグローバルな商流を活かし、柔軟な追加調達を実現（例、JERAGMが保有する欧州受入基地向けの北米LNGを、需要増時、日本に仕向け地変更） ✓ 冬期重負荷対策を通じ、自主的にLNG在庫を厚めに確保・維持

※JERA Global Markets Pte. Ltd.

kWの確保対策（電源の確保）

参考 1

- 追加供給力の公募開始前に、長期計画停止中であった姉崎火力発電所5号機の運転再開に向け、自主的に準備工事着手。（2021年10月26日落札者に決定 お知らせ済）
- 2022年1月の運転再開に向け、運転再開準備中

姉崎火力発電所5号機の運転再開までの経緯

5月25日	電力・ガス基本政策小委員会
6月15日	✓ 冬季供給力確保策の基本的な方向性
7月12日	－ 発電所の補修調整 － 追加供給力確保のために必要な制度的な検討
	✓ 追加供給力確保のための調整力公募による調達対象
	✓ 調整力公募の基本事項（運用要件、市場供出方法、落札決定方法等）の方向性
7月16日	姉崎火力発電所5号機運転再開準備開始 （冬季に向け工事発注が必要なため自主的に判断）
8月4日	冬季追加供給力公募に係る意見募集開始
9月3日	冬季追加供給力の公募開始
9月28日	姉崎火力発電所5号機応札
10月13日	姉崎火力発電所5号機初並列 （確認運転後、追加工事実施）
10月26日	冬季追加供給力の公募結果公表 （当社姉崎火力5号機の落札決定）
1月4日～	需給ひっ迫指令に基づき運転（予定）

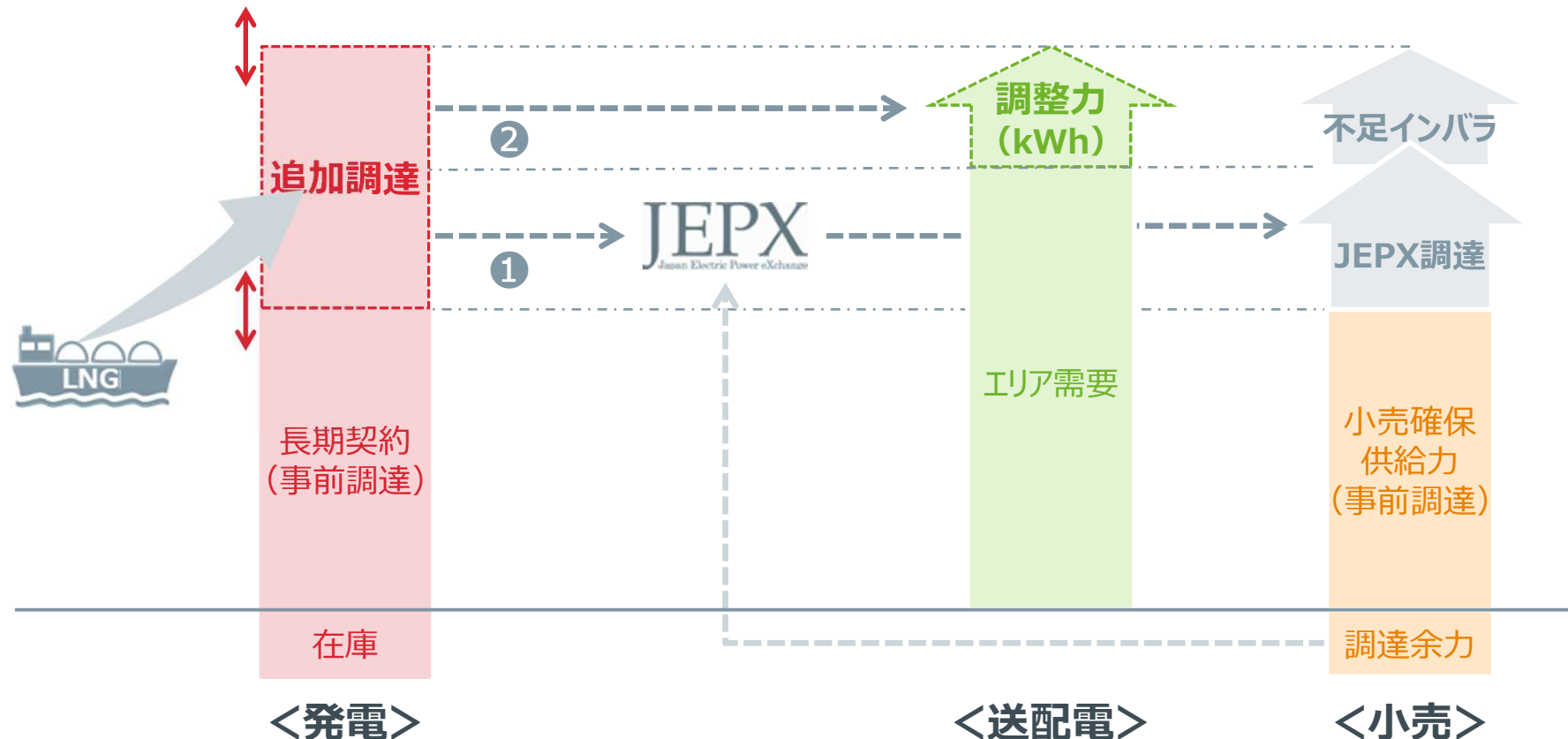
姉崎火力発電所5号機の概要



所在地	千葉県市原市姉崎海岸3
出力	60万kW（発電端）
燃料	LNG
方式	コンベンショナル方式
運転開始	1977年4月 （2021年4月から長期計画停止）

kWhの確保対策（電力市場への供給力供出）

- 東電EPとの電力受給契約を見直し、JEPXスポット入札主体を当社に移管（11/1取引開始）
LNGスポット調達等追加的な燃料調達を考慮した入札価格に見直し（電力・ガス取引監視等委員会の確認が完了した日以降、適用開始） … ①
- 送配電事業者によるkWh公募の募集要綱を踏まえ、kWh供出について前向きに検討 … ②



kWhの確保対策（燃料の確保）

- 当社独自に需要想定を行い、燃料調達や配船調整を機動的に行うことで、安定的に燃料を確保
- JERAGMの、欧米・アジア市場を跨ぐグローバルな商流を活かし、柔軟な追加調達を実現
（例、JERAGMが保有する欧州受入基地向けの北米LNGを、需要増時、日本に仕向け地変更）
- 冬期重負荷対策期間を通じ、自主的にLNG在庫を厚めに確保・維持

